

# H3C UniServer R4900G3サーバー プロセッサーインストールクイックスタート

Copyright©2018-2019,New H3C Technologies Co.,Ltd.およびそのライセンサ

### **All Rights Reserved.**

本書のいかなる部分も、New H3C Technologies Co.,Ltd.の事前の書面による同意なしには、いかなる形式または手段によっても複製または変更することはできません。

### **商標**

New H3C Technologies Co.,Ltd.の商標を除き、本書に記載されている商標は、それぞれの所有者の所有物です。

### **注意**

本書に記載されている情報は、予告なしに変更されることがあります。本書の記述、情報、および推奨事項を含むすべての内容は正確であると考えられますが、明示的または暗示的ないかなる種類の保証もなく提示されています。H3Cは、本書に含まれている技術的または編集上の誤りまたは漏れに対して責任を負わないものとします。

### **環境保全活動**

本製品は、環境保護のために設計された製品です。本製品の保管、使用、廃棄にあたっては、各国の法規制を遵守する必要があります。

# はじめに

ここでは、マニュアルに関する次の内容について説明します。

- 対象者
- 表記規則
- ドキュメントのフィードバック

## 対象者

本書は、以下を対象としています。

- ネットワークプランナー。
- フィールドテクニカルサポートおよびサービスエンジニア。
- R4900G3サーバーで作業するサーバー管理者。

## 表記規則

次の情報では、マニュアルで使用されている表記法について説明します。

### コマンドの表記法

コンベンション	説明説明
<b>ボールド体</b>	太字のテキストは、次のように文字どおり入力するコマンドとキーワードを表します。
<i>斜体</i>	斜体のテキストは、実際の値に置き換える引数を表します。
[]	角カッコは、オプションの構文選択(キーワードまたは引数)を囲みます。
{x y.}	中カッコは、必要な構文選択のセットを縦棒で区切って囲みます。縦棒から選択します。
[x y.]	角カッコは、縦棒で区切られたオプションの構文選択肢のセットを囲みます。この中から1つを選択するか、または何も選択しません。
{x y.}*	アスタリスク(*)で囲まれた中括弧は、必要な構文の選択肢を縦棒で区切って示しています。この中から最低1つを選択します。
[x y.]*	アスタリスク(*)付きの角カッコは、オプションの構文の選択肢を縦棒で区切って示しています。ここでは、選択肢を1つ選択するか、複数選択するか、選択しないかを選択できます。
&<1-n>	引数またはキーワードと引数の組み合わせは、アンパサンド(&)記号の前に1~n回入力できます。
#	シャープ記号(#)で始まる行はコメントです。

### GUIの規則

コンベンション	説明説明
<b>ボールド体</b>	ウィンドウ名、ボタン名、フィールド名およびメニュー・アイテムは太字で表示されます。たとえば、「新規ユーザー」ウィンドウがオープンしたら「OK」をクリックします。
>	複数レベルのメニューは、山カッコで区切られます。たとえば、File>Create>folder。

## 記号

コンベンション	説明説明
	重要な情報に注意を喚起する警告で、理解されていないか、守られていなかったりすると、人身事故につながる可能性があります。
	重要な情報に注意を喚起するアラートです。重要な情報を理解またはフォローしていないと、データの損失、データの破損、またはハードウェアやソフトウェアの損傷が発生する可能性があります。
	重要な情報に注意を喚起するアラート。
注:	追加または補足情報を含むアラート。
	有用な情報を提供するアラート。

## ネットワークポロジアイコン

コンベンション	説明説明
	ルーター、スイッチ、ファイアウォールなどの汎用ネットワーク・デバイスを表します。
	ルーターまたはレイヤ3スイッチなどのルーティング対応デバイスを表します。
	レイヤ2またはレイヤ3スイッチなどの汎用スイッチ、またはレイヤ2転送およびその他のレイヤ2機能をサポートするルーターを表します。
	アクセスコントローラ、統合有線WLANモジュール、または統合有線WLANスイッチ上のアクセスコントローラエンジンを表します。
	アクセスポイントを表します。
	ワイヤレスターミネータユニット。
	ワイヤレスターミネータ。
	メッシュアクセスポイントを表します。
	全方向信号を表します。
	方向信号を表します。
	ファイアウォール、UTM、マルチサービス・セキュリティ・ゲートウェイ、ロード・バランシング・デバイスなどのセキュリティ製品を表します。
	ファイアウォール、ロードバランシング、NetStream、SSL VPN、IPS、またはACGモジュールなどのセキュリティモジュールを表します。

## 本書で提供される例

このドキュメントの例では、ハードウェアモデル、構成、またはソフトウェアバージョンがデバイスと異なるデバイスを使用する場合があります。例のポート番号、サンプル出力、スクリーンショット、およびその他の情報が、デバイス上の情報と異なることは通常です。

# ドキュメントのフィードバック

製品ドキュメントに関するご意見は[info@h3c.com](mailto:info@h3c.com)まで電子メールでお送りください。ご意見をお寄せいただければ幸いです。

## 内容

コマンドの表記法 .....	3
GUIの規則 .....	3
記号 .....	4
ネットワークポロジアイコン .....	4
本書で提供される例 .....	4
概要 .....	7
プロセッサキット .....	7
インストールの準備 .....	7
プロセッサの取り付け .....	9
(オプション)ファンの取り付け .....	12
指針 .....	12
ファンの取り付け .....	13
DIMMの取り付け .....	14
(オプション)エアバッフルパネルの取り付け .....	14
サーバーの起動 .....	15

# 概要

次の情報は一般的な参照用です。実際の要件に応じて、インストールおよび削除の手順を計画します。

このドキュメント内のハードウェアオプションのモデル名は、モデル名ラベルとわずかに異なる場合があります。モデル名ラベルでは、一致するサーバーブランドや該当する地域を識別するために、ハードウェアコードのモデル名に接頭辞または接尾辞が追加される場合があります。たとえば、DDR4-2666-8G-1Rx8-Rメモリモデルは、UN-DDR4-2666-8G-1Rx8-R、UN-DDR4-2666-8G-1Rx8-R-F、およびUN-DDR4-2666-8G-1Rx8-R-Sなどのメモリモジュールラベルを表します。

このドキュメントの図は説明のみを目的としています。

## プロセッサキット

H3C UniServer R4900G3サーバーのプロセッサキットには、次のコンポーネントが含まれています。

- プロセッサ
- 固定用ブラケット
- ヒートシンク
- [ファン]
- エアバッフルパネル(標準のヒートシンクにのみ付属)

プロセッサの取り付けにはトルクスドライバー(T15およびT30)が必要です。サーバーにはトルクスドライバー(T15)が付属しています。トルクスドライバー(T30)は、お客様ご自身でご用意ください。

## インストールの準備

### ⚠注意

高温の表面でけがをする危険性を減らすために、サーバーと内部システムコンポーネントに触れる前に、それらを冷却してください。

### ⚠注意

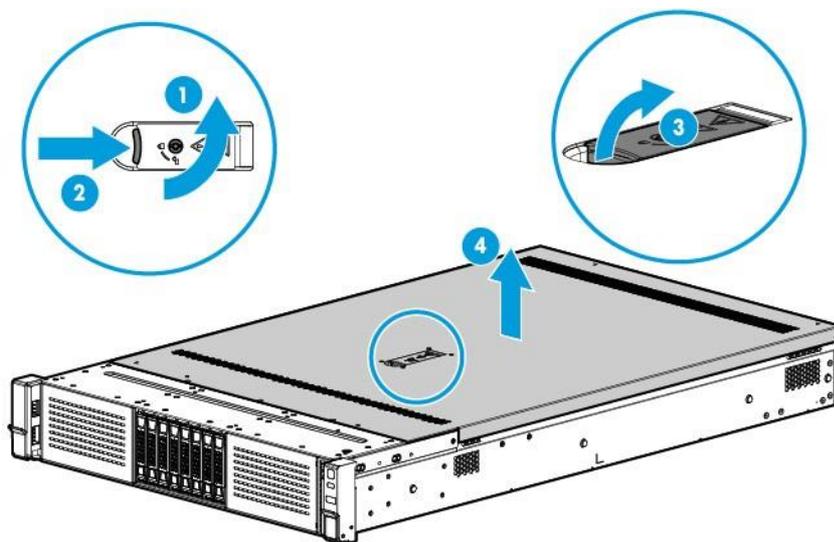
- プロセッサおよびシステムボードの損傷を防止するために、プロセッサを取り付けることができるのは、H3C認定の担当者およびプロのサーバーエンジニアのみです。
- 静電気による電子部品の損傷を防止するために、静電気防止用リストストラップを着用してから取り付け手順を開始してください。静電気防止用リストストラップが確実にアースされていることを確認してください。

プロセッサのインストール用にサーバーを準備するには、次の手順に従います。

1. すべてのサーバデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. 電源ケーブルを外します。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
  - a. (オプション)アクセスパネルがロックされている場合は、図1のコールアウト1に示すように、トルクスドライバー(T15)を使用してロックレバーのネジを緩めます。
  - b. 図1のコールアウト2および3に示すように、ロックレバーのラッチを押し、ロックレバーを持ち上げます。アクセスパネルは自動的にサーバーの背面方向にスライドします。

- c. アクセスパネルの両側を持ち示すように、アクセスパネルの両側を持ち上げてサーバーから離します。

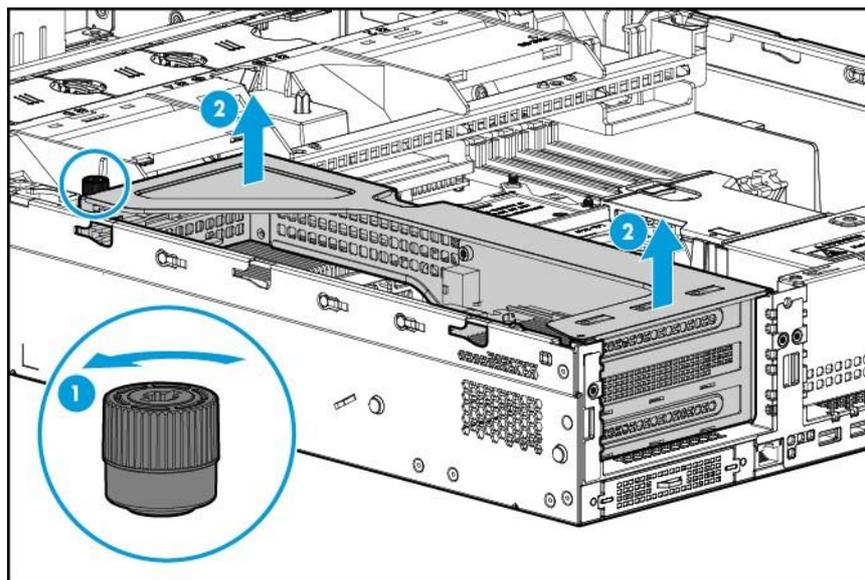
図1 アクセスパネルの取り外し



6. シャーシエアバッフルを取り外します。

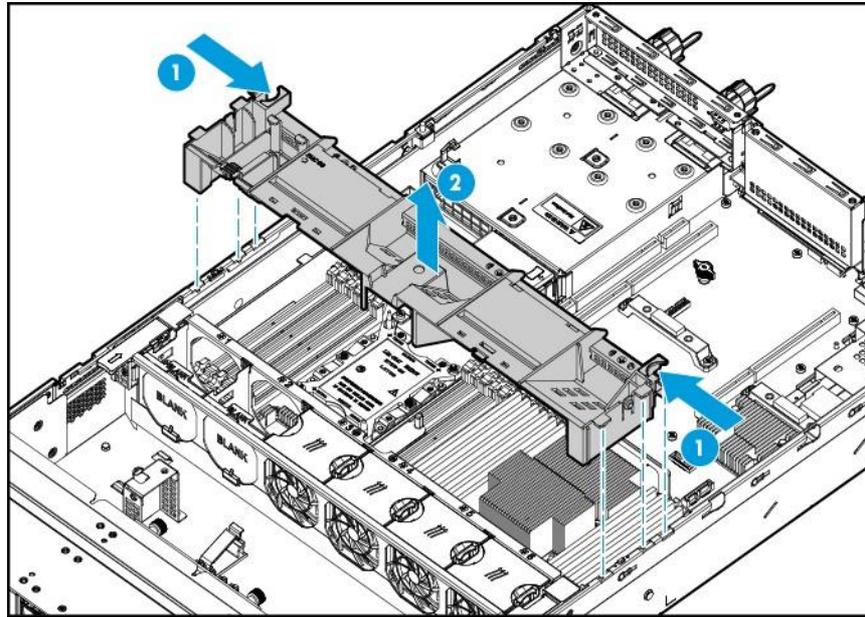
- a. (任意)シャーシエアバッフルに接続されているライザーカードを取り外します。

図2 シャーシのエアバッフルからのライザーカードの取り外し



- b. 図3に示すように、エアバッフルの切り込みに指を入れて、エアバッフルを持ち上げ、シャーシから離します。

図3 シャーシのエアバッフルの取り外し



## プロセッサの取り付け

### △注意

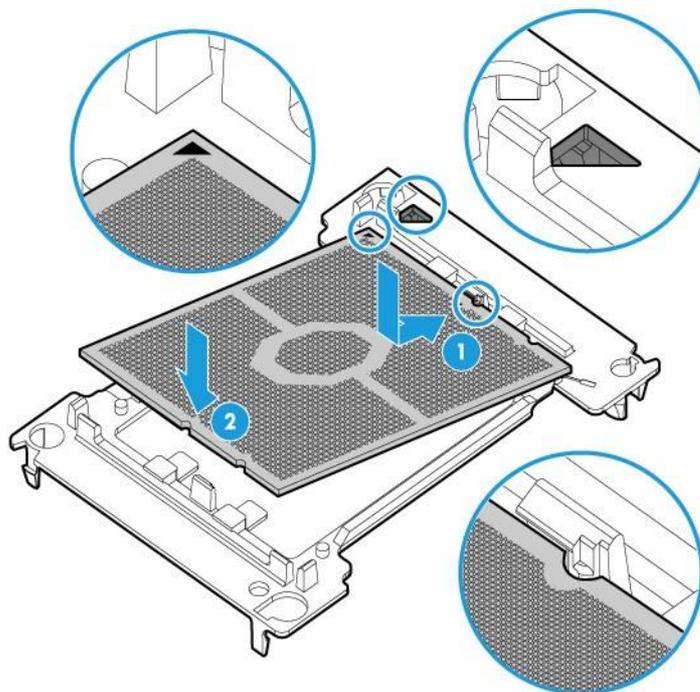
- プロセッサソケットのピンが損傷しないように、空のプロセッサソケットには必ずカバーを取り付けてください。
- サーバー上のすべてのプロセッサが同じモデルであることを確認します。
- プロセッサの損傷を防止するために、必ずプロセッサの端を持ってください。金には絶対に触れないこと

### プロセッサ底面の接点

プロセッサをインストールするには、次の手順に従います。

1. プロセッサを固定用ブラケットに取り付けます。
  - a. 図4のコールアウト1に示されているように、プロセッサの小さな三角形を、固定用ブラケットに成形された位置合わせ三角形に合わせ、ブラケットのガイドピンをプロセッサのノッチに合わせます。
  - b. 図4の引き出し線2に示すように、プロセッサをゆっくりと下ろし、ブラケットの反対側にあるガイドピンがプロセッサのノッチにぴったりと合うようにします。

図4 プロセッサの固定用ブラケットへの取り付け



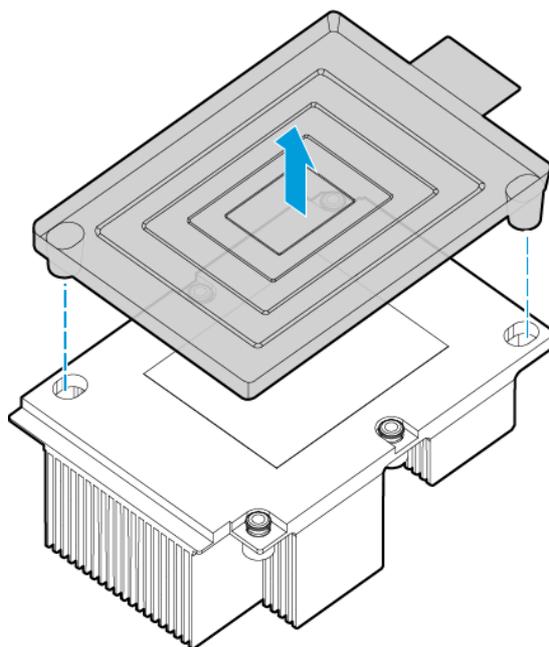
2. 固定用ブラケットをヒートシンクに取り付けます。

**△注意**

ヒートシンクから保護カバーを取り外すときは、ヒートシンクのサーマルグリースに触れないように注意してください。

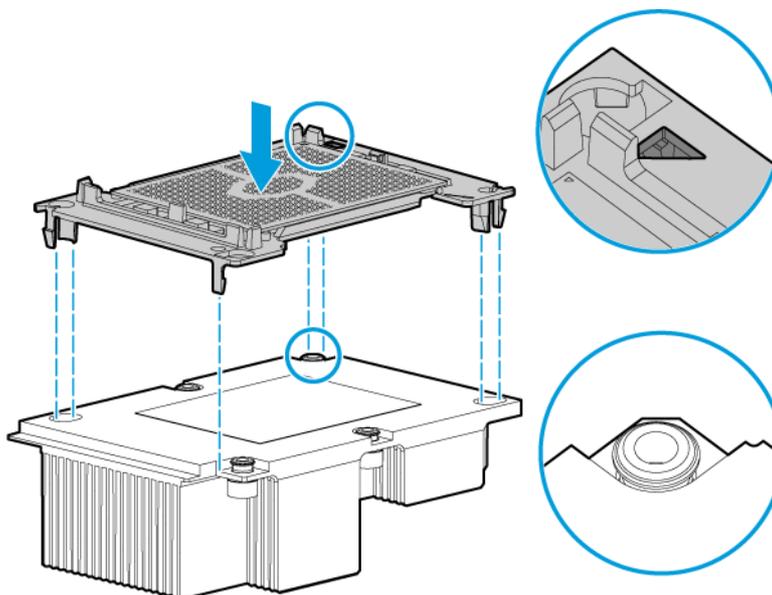
- a. 保護カバーを取り外します。図5に示すように、カバーをまっすぐ持ち上げて、ヒートシンクから離します。

図5 保護カバーの取り外し



- b. 固定用ブラケットをヒートシンクに取り付けます。ヒートシンクにはコーナーが切り取られています。図6に示すように、固定用ブラケットの三角形の位置をヒートシンクのこのコーナーに合わせます。ブラケットの四隅がヒートシンクの四隅にカチッという音をするまで、ブラケットをヒートシンクの上に垂直に下ろします。

図6 プロセッサのヒートシンクへの取り付け



3. プロセッサソケットカバーを取り外します。

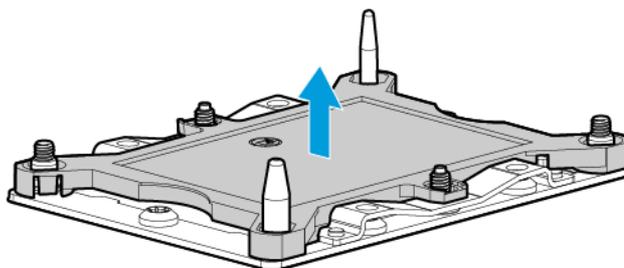
**△注意**

- 静電気防止用手袋を使用してプロセッサソケットカバーを取り外すときは、プロセッサソケットのピンに触れないように注意してください。
- プロセッサソケットのピンは非常に壊れやすいため、絶対に触れないでください。ピンが破損した場合は、マザーボードの交換が必要になる場合があります。
- プロセッサソケットのピンを清潔に保ち、ソケットにほこりや汚れが付着していないことを確認してください。

その他の破片もあります

カバーの両側にある切り欠きを持ってまっすぐ持ち上げ、ソケットから離します。後で使用できるように、カバーを固定しておいてください。

図7 CPUソケットカバーの取り外し

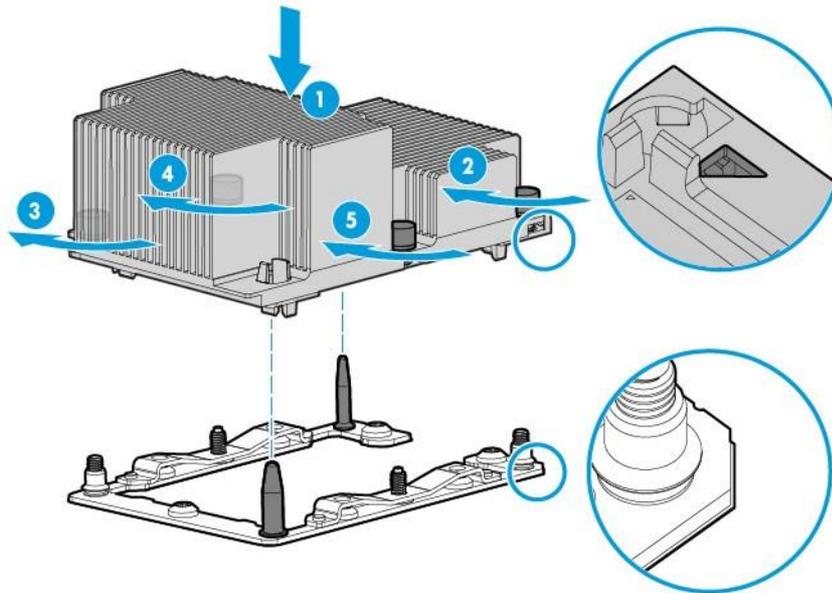


4. ヒートシンクをサーバーに取り付けます。
- a. 固定用ブラケットの三角形の位置をプロセッサソケットの切り取った角に合わせ、ヒートシンクのピン穴をプロセッサソケットのガイドピンに合わせます。ヒートシンクをプロセッサソケットに

下ろします。図8の引き出し線1を参照してください。

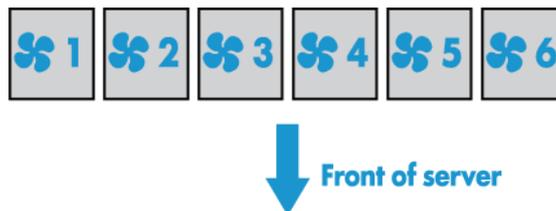
- b. ヒートシンクの非脱落型ネジは、図8に示すように、2から5までの番号の順序に従って固定してください。この順序に従わないと、ネジが外れることがあります。

図8 プロセッサソケットへのヒートシンクの取り付け



## (オプション)ファンの取り付け

図9 ファンスロットの番号付け



## 指針

サーバーはN+1ファンの冗長性をサポートします。

サーバーにプロセッサが1基搭載されている場合は、次のガイドラインに従ってサーバーのファンを設定します。

- ファンスロット1~6のそれぞれには、次の構成用のファンを取り付ける必要があります。
  - 8台のSFF/12台のLFF/25台のSFFドライブサーバ(前面にNVMeドライブを搭載)
  - 12台のLFF/25台のSFFドライブサーバ(背面にドライブを搭載)
  - 次のGPUモジュールで構成されたサーバー:
    - GPU-M4-1
    - GPU-K80-1
    - GPU-M60-1およびGPU-M60-1-X

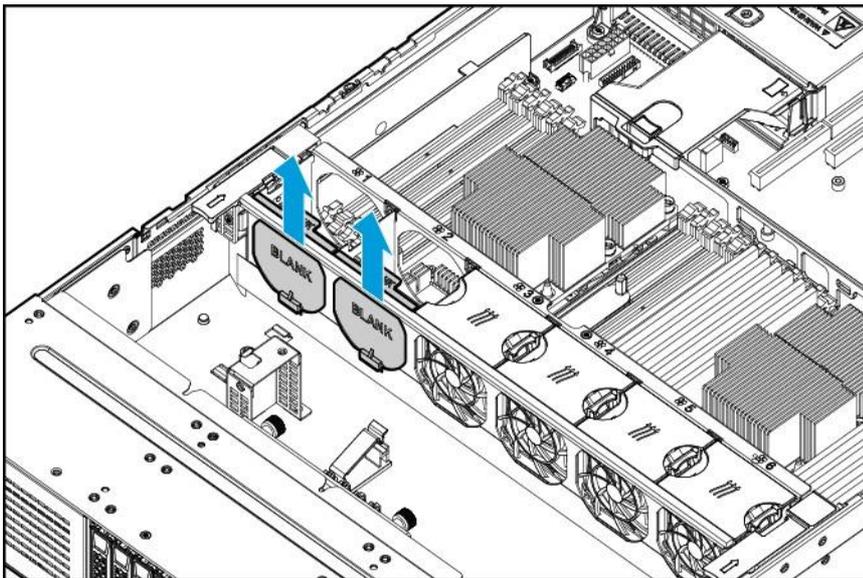
- GPU-P4およびGPU-P4-X
  - GPU-P40およびGPU-P40-X
  - GPU-M10およびGPU-M10-X
  - GPU-P100
- その他の構成の場合:ファンスロット3、4、5、および6にはそれぞれファンが取り付けられている必要があり、ファンスロット1および2にはファンが取り付けられていない場合はファンブランクが取り付けられている必要があります。

サーバーに2つのプロセッサがある場合は、ファンスロット1～6のそれぞれにファンを取り付ける必要があります。

## ファンの取り付け

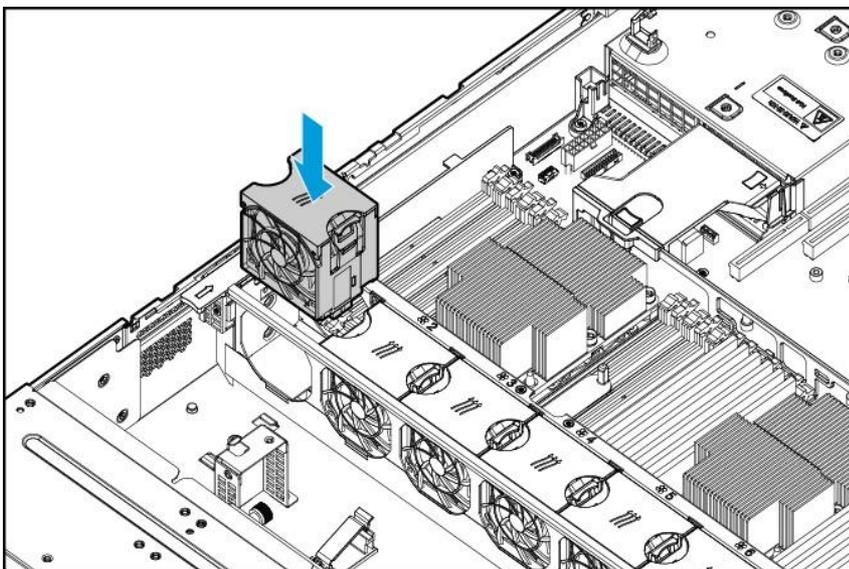
1. ファンスロットからファンブランクを取り外します。図10に示すように、ファンブランクを持ち上げて、ファンスロットから離します。

図10 ファンスロットからのファンブランクの取り外し



2. ファンを取り付けます。図11に示すように、ファンをスロットに押し込みます。

図11 ファンの取り付け



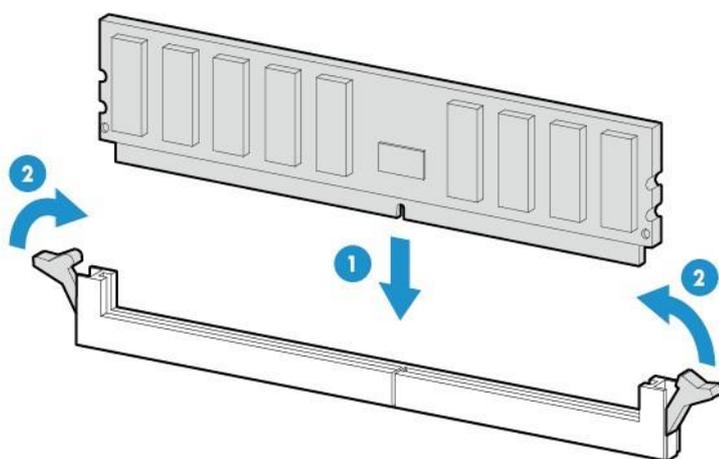
# DIMMの取り付け

新しいプロセッサを取り付けたら、そのプロセッサ用のDIMMを取り付けます。DIMMの取り付けガイドラインについては、サーバーのユーザーガイドを参照してください。

DIMMを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. DIMMスロットの固定クリップを開きます。
  2. DIMMの下端のノッチをDIMMスロットのキーに合わせます。
  3. DIMMをスロットに挿入し、固定スリップでDIMMが所定の位置にロックされていることを確認します。
- DIMMスロットは誤配向を防止する構造になっていますので、DIMMを簡単に挿入できない場合は、取り付けが間違っている可能性があります。DIMMの向きを変えてから、もう一度挿入してください。

図12 DIMMの取り付け



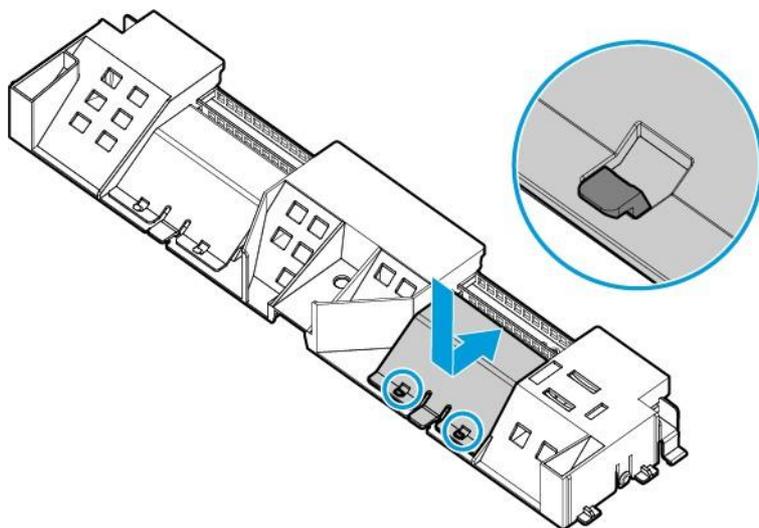
## (オプション)エアバッフルパネルの取り付け

プロセッサに標準のヒートシンクを使用する場合は、プロセッサキットに含まれているエアバッフルパネルをエアバッフルに取り付けて、放熱性を高めてください。

エアバッフルパネルを取り付けるには、次のとおりです。

1. エアバッフルを上下逆にして配置します。
2. 図13に示すように、エアバッフルパネルをスロットに置き、パネルを下に押しながら同時に矢印の方向に押します。エアバッフルのロックタブによってパネルが所定の位置にロックされると、カチッという音が聞こえます。

図13 エアバッフルパネルの取り付け



## サーバーの起動

1. シャーシエアバッフルをサーバーに取り付けます。
2. (オプション)ライザーカードがエアバッフルから取り外されている場合は、取り付け直します。
3. アクセスパネルを取り付けます。
4. サーバーをラックに取り付けます。
5. サーバーの電源コードを接続します。
6. Power On/Standbyボタンを押します。